

Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木西丁目8番7号れんが橋1F
TEL.(052)678-5310 FAX.(052)678-5330
http://clanago.com

プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
業務内容
①舞台イベントの企画・制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ
〒464-0850 愛知県名古屋市中区今池1-14-11 CASA LUZ302
TEL.052-735-3151 FAX.052-735-3152
E-mail: mpoffice@pa2.so-net.ne.jp



市川透の描く「苦難」のドラマ

BALLET NEXT 10周年記念公演

「ロミオとジュリエット」

創設10周年を迎えたBALLET NEXT (代表・福田晴美)が、記念公演「ロミオとジュリエット」Misereryを行う。2月15日(午後5時)市民会館フォレストホール。

男性主体のバレエだが、今作は逆。音楽だけはプロコフィエフを引用するが、主役はジュリエットをはじめとする女性たち。彼女たちは「ドラマの時代や場所は特定してないが、架空の国の内戦、つまり同一民族の戦いをイメージしている」。ちなみに副題の「Miserery」の意味は「苦難」。

出演は青木里英子(ジュリエット)、清水健太(ロミオ)、下村芝布、

2月15日 市民会館フォレストホール

世界に羽ばたくチョウになれ

名古屋音楽大学大学院1年 趙知奈



豊かな表現力を発揮する趙知奈



角田 鋼亮



田中 祐子

注目のソリストを取材した。名古屋音楽大学大学院1年の趙(ちょう)知奈(22歳)だ。彼女は2月に行われる市文化振興事業団ミュージカル「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」3月に開催される「オーケストラの祭典」に出演する。ソプラノにふさわしい容姿と歌声、俳優顔負けの表現力。まさに地元オペラ界の明日を担うスターの誕生だ。

「院生になって一気に演奏の場が増えました。譜読みや稽古に追われる毎日です」と近況を語る趙。「ピアッツァ」では主人公クララと恋に落ちるフアンリツツォの義姉・フランカを演じる。「音楽性の高いミュージカルだと聞いて応募しました。確かに難しいけれど、とても新鮮です」と稽古に励む。フランカにはジュゼッペという夫がいるのですが、これがとんでもないプレーボーイで、劇中の私は怒ってばかり(笑い)。

「オーケストラの祭典」は同事業団の初企画。名フィル、セントラル、中部フィルのプロオーケストラと、県立芸大、名古屋

優れた歌唱、表現力で頭角

2月事業団ミュージカル「3月」オーケストラの祭典」に出演

芸大、名古屋音大の大学オーケストラが共演するゴージャスな演奏会。趙はバイオリンの酒井愛里(県芸・大学院2年)、ピアノの戸田恵(名芸・大学院2年)とともにソリストとして参加。15日の第一部で、シネトラウスの「万霊節」と「セレナーデ」、カールマンの「ジプシーバイオリン」を

熟年の人生をシャンソンで謳歌

シャンソンの扉

70 大木 実

氏名を漢字で縦書きし左右対称になる人は開運に恵まれるとか。昨年5月に開催された「第1回東京シャンソンコンクール」で見事グランプリを獲得した大木実もそう

聴くとこの3曲を歌う。「こちらは大学から推薦されました。一流のオーケストラをバックに歌うのは憧れでした。特に『セレナーデ』は大好きな曲なのでとても楽し

みです」 気の早い話だが、大学院終了後の進路について聞くと、「オペラにこだわりたい。日本全国、海外でも歌えるソリストになりたい」ときっぱり。



大木 実 (音楽ブラザで)

山形県出身の53歳。仙台で毛皮店を経営している。なかなか立派な体格で舞台映えするが、「見た目よりデブで、顔がでかいだけ」と笑わせる。

好きでしたから、やってみようと思いましたが入門を決めた。

音楽ブラザでは「サンフランシスコへの6枚の枯葉」とグランプリ受賞曲「愛しかなない時」を日本語で披露した。響きの良いバリトン、語り掛けのような歌唱は説得力も抜群だ。

「初めて曲を聴く人に内容を伝えることが第一、それには真っサラな心で歌うこと。上手に歌おうなんて思わないこと。師匠(佐藤よしみ)にそう教わりました」

京谷弘司 タンゴ・デュオ & 岩城康子
2015年1月27日(火)
場所: カフェ・コンセル・エルム
OPEN 19:00
START 19:30
CHARGE ¥5,500

TEL 052-733-0085 mail / mail@chanson-japonaise.com
名古屋千種区吹上2-4-5 / 地下鉄桜通「吹上駅」5番出口徒歩約7分

グリーン・エコーが24日 芸術劇場でコンサート 「コスモロジー=宇宙観」

優れた企画性と音楽性で高い評価を得る混声合唱団、グリーン・エコーが1月24日(午後5時)芸術劇場コンサートホールで第57回演奏会「コスモロジー=宇宙観」を開く。

客演に日本を代表するオルガン奏者の室住素子、ピアノの渡部真理、サクソホンの堀江祐介を迎え、合唱曲の傑作「レクイエム」の作曲者であるジョン・ラターら4人の作曲家の意欲作を紹介する。

指揮は荻野砂和子、河辺泰宏。演奏は愛知室内オーケストラ。全指定席3000、2000円。TEL 052(231)0955。

親子で楽しく日本舞踊を体験しよう。1月25日(午後1~3時)東新町の中電ホールでワークショップ「エンジョイ! 日舞」が催される。エイ! 日舞が催される。エクササイズ感覚で日舞の基本に取り組み(服装は自由)。指導は西川長秀。参加費は1500円(小学生以下は無料、託児も可)。問い合わせはTEL 080(69927)9992。

25日 西川長秀がエンジョイ! 日舞

舞台批評

岡田純奈バレエ団

岡田純奈バレエ団の創立50周年記念公演「白鳥の湖」を見た(11月22日・市民会館大ホール)。

ため息の出るような優れたシーンもあれば、落胆する場面もあった。ダンス1人個々にも、出来不



岡田純奈バレエ団「白鳥の湖」

も鋭く、凛(りんとした)動きで王子を手玉に取った。見せ場であるグランフェツテで音楽に乗れず、それまで万全だった回転軸が揺らいだのは残念。最終幕霧

巧みな動線、こだわりの演出

松岡伶子バレエ団

長い間「くるみ割り人形」の見どころは、ディベールの見どころが妙技を競う「お菓子の国」で、前



「くるみ割り人形」(鶴山ありす)



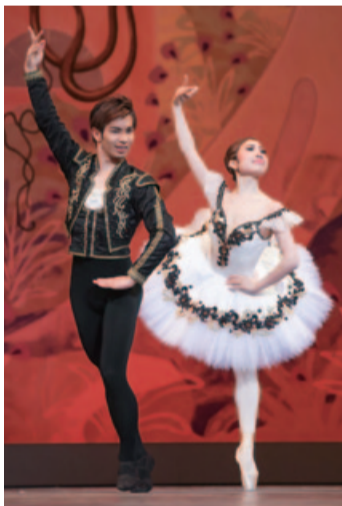
「竹取物語」(後藤千花と大寺資二)

半の「クララ家の大広間」は子供たちだと思っていた。だが、松岡伶子バレエ団の「くるみ」(12月7日・市民会館フォレストホール)を見て、その認識を一新した。まず大広間のたたずまい(空間の色調と重厚さ)が素晴らしい。6人の男の子(実際は女の子)のジェントルマンぶりが実に堂に入っている。そしてドロッセルマイヤー

後半はダンスの質量豊富な松岡バレエならではのゴージャスな展開。さらにこの日は特別カーテンコールが付き、観客を喜ばせた。まさにバレエ団からの豪華なクリスマスプレゼントだった。

バレエ用品のダンスケイト
おかげさまで3周年を迎えました!
ありがとうございます!!

ダンスケイト
住所 460-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目11-23
白川本町ビル4F(大橋商店の上)
電話番号 052-265-7900
<http://danskate.com>



前原未来と市橋万樹(撮影・杉原一馬)

随所に生徒たちの成長を実感

22日・同センター)。台本は麻創けい子、構成、振付は徳山博士。23日のバレエ団から58人のダンサー、名古屋音大から13人の学生が参加した。

題材に新鮮味はないし、主力ダンサーはおなじみの顔ぶれ。正直、新たな発見があるとは思えなかったが、ごめんなさ

を無理なく取り込んだ。3人のグランフェツテから扇の群舞へと展開する場面にはじびれた。

ダンサー個々では月の女帝を演じた岩瀬麻由が際立った。後藤千花と大寺資二の細やかな情愛シーンも雄弁だった。囃(おうた)を演じた磯貝理香の演技も秀逸だった。

同スクールでは昨年6月に「海賊」を上演。さまざまな役を踊ったことで生徒たちが成長したことが分かる。高仁依菜、北川新菜、宮下麗太ら主力に続くダンサーが目を引いた。

この日のハイライトは「ドン・キホーテ」(第3幕)の「パ・ド・ドゥ」。豪華な市橋万樹(客演)、華麗な前原未来を軸に、アンブレ10人とバリエーション4人がゴージャスなフィナーレを繰り広げた。(寺村 敏)

特選映画

「白鳥の湖」「眠れる森の美女」

名演小劇場では1月10-23日、パリ・オペラ座で収録したランドパレエ「白鳥の湖」と「眠れる森の美女」を上映する。舞台では見ることのできない主演ダンサーのクローズアップ、複数のカメラによるマルチな映像はライブビューイングならではの。

「白鳥の湖」は2005年12月の収録。オデット&オデールは昨年オペラ座を引退した名エトワールのアニエス・ルテステュ。相手役ジークフリード王子は、スペイン国立ダンスカンパニーの

パリのオペラ座エトワールの饗宴

10-23日・名演小劇場で公開



オペラ座「眠れる森の美女」

芸術監督として辣(らつ)腕を振るうジョゼ・マルティネス。上映は10-16日が午前10時、17-23日が午後1時(上映時間2時間27分)。入場料金は3500円。

「眠れる森の美女」は13年12月の収録。出演はミリアム・ワールド、ブライム、マチアス・エイマン

Romeo
BALLET NEXT
10th Anniversary Performance

2015年 2月15日(日)
16:30 開場 17:00 開演

日本特殊陶業市民会館
フォレストホール

「ロミオとジュリエット」~ Misery ~

脚本・演出・振付 市川 透
原作 シェイクスピア「ロミオとジュリエット」

ジュリエット: 青木里英子 ロミオ: 清水 健太

下村 芝布 安藤亜矢子 亀田 晴美
山下 惠理奈 中條 遙菜 山田 真恵
細川 麻衣 葛本 伊藤 伊藤 良重
穂積 万理 佐々木佳苗 長 あかね
武藤 天華 藤水 悠太 大寺 資二

武馬 広美 早川 麻実
他 シーズンメンバー

A席7,000円(指定席) B席5,000円(自由席) ◎当日券 全席500円UP
※4才未満の入場はご遠慮ねがいます。4才以上はチケットが必要です。

◆チケット発売開始/2014年11月15日(土) ◆チケット取扱/チケットぴあ 0570-029999 (Pコード/440-160)
※セブンイレブン・サークルK、バレエネクストHPよりオンライン購入可能 <http://www.studio-move.net/bn/>
TEL/FAX 052-779-0756

華やかに息づく才気と遊び心

塚本洋子TBC

TBC「くるみ割り人形」(撮影・岡村昌夫)

「深川秀夫版」と題した舞台だ。鬼才振付家の斬新な構成と演出が際立ち、才気と遊び心がチャイコフスキーの詩情と溶け合う。現代人の感性と共振する心理描写や演劇性が弾み、趣向を凝らした踊りが万華鏡のように展開する。一瞬たりとも目が離せない。

クララの畑戸利江子、金平糖の精の永田瑞穂らダンサーは「音楽が『見える』瞬間に体が自然に動き出す」という深川魔術で個性を発揮。情感豊かにハーモニを奏で、技巧が未熟な若手も踊る喜びを発散させる。マイムに感情のうねりが、群舞に洗練美が、もっとあれば更に良かった。

夢の世界で王子の勇氣に触れて少し大人へと成長し、美しく舞う雪で心が清められたクララは、両親の笑顔を迎えられて光り輝くわが家へ帰る。「生の賛歌」とともに、「希望を持っては明るい未来が待っている」のメッセージが力強く息づいていった。(桐)

見ごえあつた夜久、野々村作品

エクステンション

現代舞協協会中部支部が第4回の「モダンダンス・エクステンション」を公演した(11月25日・芸術劇場小ホール)。

「無題」の出演は女性4人。全員がよく踊った。荒々しく野性的なダンスである。自身へのいら立ち、仲間との葛藤(かっとう)をテーマにした作品らしい。

劇中、2人のダンサーが舞台背面の壁を使い絡み合う場面があった。これを発展させたら、面白い作品ができそうだ。ラストでは4人が乱暴にシャツを脱ぎ捨てた。裸



夜久ゆかり「無題」

全員が赤い衣装で乱舞する。今回は、むすめ歌舞伎に所属していた林みどりが初参加。太極三味線をかき鳴らし、異彩ぶりを発揮した。まさにお祭り、踊りの原点を見る思いがした。

安部公房より平塚戯曲が面白い

劇団協議会「友達」

安部公房の戯曲を平塚直隆が演出した「友達」を見た。俳優館の主力メ



平塚直隆演出「友達」

この戯曲、平塚が書き下ろしたと言っても納得できる不条理劇。孤独を救済しようとする、男の家に押しかけた8人家族。哀れ男は収入のすべてを彼らに搾取され、挙句の果てには毒殺されてしまう。

ミュージカルが目当てだったが...



「オペラ座の怪人」

名古屋音楽大学

名古屋音楽大が「コンテ

「救済」の名を借りた「洗脳」、あるいは「正義」を掲げた「侵略」。怪しげな新興宗教や、かつての日本を連想する、なんとも怖い話。ただ、感覚的には古い。なにしろ50年近くも前の作品だ。平塚の戯曲の方が断然よいかしくて面白い。

劇中、8人家族の長女と男が同衾(どうきん)して密談する艶っぽいシーンがある。一番の見せ場だと思えるのだが、これは平塚が最も苦手とする部分。訳のわからぬ描写で茶を濁したのはいたたけな。

年末のノーベル賞授賞式を見ていて、前から思っていたことを改めて感じた。なぜ、芸術賞がないのか？

問奏曲

ノーベル賞に芸術賞がないのは...

ノーベル賞が制定された時代は、まだ芸術の価値が今ほど認識されていなかったのが、その理由ではないかと勝手に推測するのだが...

舞台批評

名古屋オーケストラ

名古屋芸術大学オーケストラが第32回定期演奏会「第九」を行った(12月4日・市民会館)。

迫力に酔った277人の「第九」



名古屋芸大「第九」

は主役は合唱。学生主体のメンバーだけに恐ろしいほどの迫力がある。ソリストは負けじと声を張る。音楽的にはどうかと思うが、それはそれ。合唱のシャワーで身が清められた気がする。

は、2013・14年のイタリア留学で急成長した伊藤貴之の豊かな声量。残念だったのは、曲の余韻に浸ることなく、フライングして拍手や「ブラボー」を送った観客が多かったこと。

「人生はゲームのようなもの」とある。これは「人生は思うようには行かないもの」。ピリヤード台を模した舞台には、そんな思いも込められているのだろうか。名古屋二期会が

三浦安浩の洒脱な演出に乾杯



幻想的な「こうもり」の舞台(撮影・中川幸作)

名古屋二期会

三浦安浩演出のオペレッタ「こうもり」を上演した(12月6、7日・芸術劇場大ホール)。

序曲が終わり幕が上がる。そこには現れたのは舞台を覆う巨大なピリヤード台。奇妙に動く時計、数羽の蝶が舞う前衛的世界。登場人物たちはこの台の上で、特大のナイフポールとともに一夜の余興を繰り広げるのである。

飯守泰次郎の指揮、2公演がダブルキャストで行われたが、私が見たのは初日。2日目の比較はできないが、どうにも品位に欠ける芝居が多い。二期会にはシャンパンよりも芋焼酎が似合っている。

後半は古井のバイオリンと桑野のピアノで「バイオリンとピアノ」ツィガーと桑野のピアノで「バイオリンとピアノ」など、後者のバイオリンなどはスリルを感じるほど。ラベルの名曲があるが、室内楽の演奏会は少なく、このシリーズで初めて聴いた曲も多い。

ラベルの多彩な魅力を紹介

室内楽全曲演奏会



桑野郁子(ピアノ)と古井麻美子(バイオリン)の演奏

企画、演奏する「ラベル室内楽全曲演奏会」(全4回)の最終回が開催された(11月22日・電気文化会館)。

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6480円(税込)。

会員募集

お申し込み、お問い合わせは(株)マネージメント・プロパティ

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 忠生 岡田 純奈 つつみあつき
秋田巴喜子 岡崎 保彦 手塚 淑子
阿久津紀子 小倉ひろこ 戸田美江子
浅井 道雄 越智 實 中川 幸作
荒川 洋子 小野由加利 仲条 優理
出田 光代 加藤 静子 夏目 久子
伊藤 敬 金澤 志保 名鶴ひとみ
稲垣 舞比 かにえあきり 西川 長秀
井上 初子 蟹江 尾八 野々山保治
齋 千龍 倉知 外子 野村 祐子
内田寿千代 小池 真琴 服部 節子
内田 寿典 小島 俊男 林 雅仁
内田 寿晴 榎原菜生末 瀧本晴都子
内田 寿哉 佐藤美智子 松下 奈央
内田のり子 澤脇 達晴 松本 道子
内田のり登 瑞鳳 澄依 宮西 圭子
内田のり美 鈴木 文雄 森 剣
内田のり美知 角田真優美 山口 雅子
大島 明子 武市 孝三 吉見 鹿子
大寺 資二 武本 京子 よしみゆこ
岡田 一男 玉田 弘子 渡部 千枝

和光写真/神谷久実子バレエスクール/術テス・大阪/Hide Dance Lab.
(株)ビデオ教映社/演劇集団キャラメルボックス/NORIKO BALLET STUDIO
松岡伶子バレエ団/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会
クラリネット専門店「クラリネットハーモニー」Tel 052-831-9833

TOSHIBA Grand Concert 2015
Orchestre National du Capitole de Toulouse
指揮 トウガン・ソビエフ
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団

Tugan Sokhiev

2015 **2.28** (土) 開演15:00 (前夜14:15)
愛知県芸術劇場コンサートホール

ピアノ協奏曲第1番 沙羅美 Op.11
リムスキー・コルサコフ 交響組曲「シェヘラザード」Op.33

Piano **Yulianna Avdeeva**
ユリアナ・イグデーエバ

チケット料金 全席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥9,000 C席 ¥7,000 D席 ¥5,000

10.11 (土) 開演19:00
チケット料金 全席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥9,000 C席 ¥7,000 D席 ¥5,000

お問い合わせ 東海テレビ放送 事業部 052-954-1107 (平日 10:00~18:00) <http://www.t-gc.jp/>

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き



戸谷誠子(ピアノ)
注目される若手の一人「戸谷誠子ピアノリサイタル」(11月18日・電気文化会館を聴いた写真)。
前半はシューマン「交響的練習曲」、後半はプロコフィエフ「ピアノソナタ第7番・戦争ソナタ」

意外だった演奏スタイルの変化

が中心。ドイツ・ロマン派、ロシアとタイプは異なるが、どちらも重量級の作品。集中力のほか、耐久力も必要だが、快調なテンポで難なくこなす、ケロリとした表情は、この人らしい。

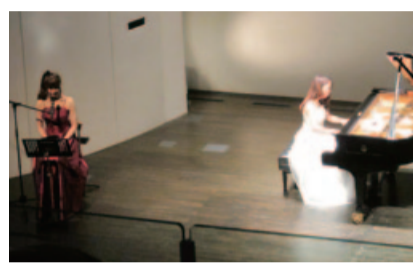
これまでの戸谷のようなタイプは少なく、その持ち味が失われたのなら惜しい気がする。

しかし演奏をタイプで判断すべきではないし、同じ人間でもいろんな面がある。さまざまな演奏スタイルに挑戦するのは悪くない。

「話」と「曲」のマッチングに課題

宗次ホールでランチタイムに行われた「ほろほろクラシックコンサート」(12月9日)に出かけた。丸山晶子のピアノ、おはたれいこの朗読で、中日新聞で毎週日曜に掲載中のコラム「ほろほろ通信」から実際にあった心温まる話と、ピアノ演奏を交互に聴かせる試み

「話」と「曲」のマッチングに課題
だ。写真。
曲は「ククタン」「小犬のワルツ」「別れの曲」「舟歌」など、ショパンの有名な作品ばかり。丸山のピアノは優しく温かな音色で、テンポをほどよく



音楽の情熱あふれる熱演

石原佳代子(ピアノ)
石原佳代子ピアノリサイタル(12月14日・電気文化会館)の写真を、彼女の演奏はピアノグループで活動を始めたころから知っているが、今回久しぶりにリサイタルを聴いた。

シューベルト「ソナタ18番・幻想」に始まり、シューマン「フモレスケ」、ブラームス「ヘンデルの主題による変奏曲とフーガ」とロマン派の著



名な作曲家の大作をそえた。かなり濃厚な内容と言える。

ロマン派の作品は形式が自由だけに、うまく構成した演奏は難しい。石原はそれぞれの曲想をつかんで、無難によくまとめた。特に最後のブラームスは、彼女の音楽に対する情熱があふれるような熱演だった。

都響 東京都交響楽団 創立50周年記念 名古屋特別公演

50th Anniversary
指揮 エリアフ・インバル
東京交響楽団
Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

愛知県芸術劇場コンサートホール
2015年3月14日(土)
14:00開演(13:20開場)

ワーグナー「ワグネル祭典と断片集」
楽劇「トリスタンとイゾルデ」より「前奏曲と愛の死」
ブルックナー「交響曲第4番 変ホ長調「ロマンティック」(ワグネル版、1878/80)

チケット一般発売
11月22日(土)
18:00発売(18:00開演)

チケット料金(全席指定・税込)
プラチナ席 ¥7,500 S席 ¥6,000 A席 ¥4,500 B席 ¥3,000

お問い合わせ
TEL 0570-00-5310 <http://clanago.com/i-ticket>
TEL 03-3822-0727 <http://www.tmsu.or.jp>

音楽の深みに触れる鋭敏と、遙かな高みまで溢れ広がる光
巨匠インバル & 都響の到達点!

BEETHOVEN
KYUJO NAKAMICHI
CAVIS UNIVERSUM

Atsuko Yamachi
Piano Recital

Kaeko Ishikawa
Piano Recital
2015 2.14

五重奏
W.A. Mozart
R. Vaughan Williams
Dvořák
2015 2/16

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(10:00~17:00 ※日祝休み)
アイ・チケット web 検索

クラシック名古屋のプレイガイド「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。